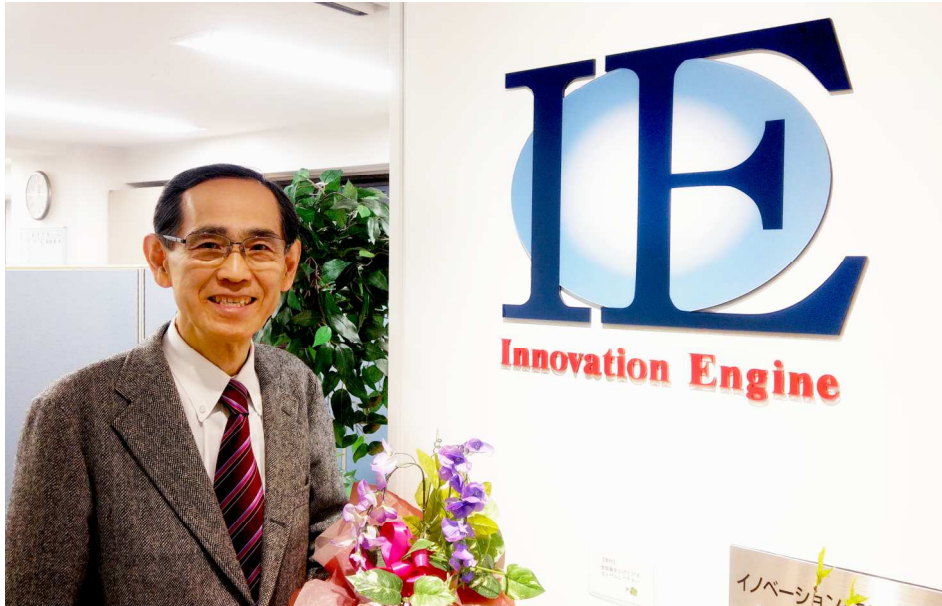


イノベーション・エンジン株式会社



2018年2月

● 代表取締役 佐野 睦典



21世紀の日本は、自らが新たな価値を創造して、世の中に普及させていくという「イノベーション」を率先実行すべき時期にきています。そのためには、次の二点を実践すべきと考えています。

まず第一に、世界に貢献できる価値創造を行うために、日本人が元来有する「技術」という強みに立脚することです。特に今、劇的な技術革新により製品・サービスが全く変わろうとしています。この機を捉え「新産業フロンティア」を探索し、そのリード役となる技術企業を発掘すると共に成長支援していきます。

第二に、一人一人がビジョンを打ち出し、自らリスクを取って果敢に挑戦していくことです。従来、組織中心型の日本社会ではありますが、「個の自立による価値創造」という新たな動きを大河のごとき潮流にしていきます。

イノベーション・エンジンは新しい価値創造を一人一人の創意で実践・普及させていく一歩を、勇気をもって踏み出すための駆動力となるべく創立されました。

■ ビジョン

技術分野における投資事業を日本で普及・発展させ、技術領域に独創性と成長力のある中堅・ベンチャー企業を続々と輩出させる。その結果として、技術投資業界で圧倒的トップシェアを獲得する。

概要・沿革

概要

事業内容	日本随一の未上場会社と上場会社にわたる技術投資事業を行う
社名	イノベーション・エンジン株式会社
本社所在地	〒105-0014 東京都港区芝 2-3-12 芝アビタシオンビル 3F
電話 / FAX	TEL 03-5730-6721 / Fax 03-5730-6722
U R L	http://www.innovation-engine.co.jp
お問い合わせ	hpcontact@innovation-engine.co.jp
資本金	1億円
運用金額	ファンド業の運用実績約 200 億円
関連会社	イノベーション・ウイング株式会社（2002 年 4 月設立）

沿革

2001 年 1 月	イノベーション・エンジン株式会社設立
2001 年 9 月	クリティカル・テクノロジー一号投資事業有限責任組合を設立
2005 年 6 月	投資顧問業を開始
2005 年 8 月	先端技術産業創造投資事業有限責任組合を設立
2008 年 1 月	イノベーション・エンジン三号投資事業有限責任組合を設立
2013 年 10 月	インスペック(株)（東証二部上場）の資金調達において F A 業務を実施
2013 年 12 月	IE&Shi jo 投資事業有限責任組合を設立
2014 年 6 月	イノベーション・エンジン創薬支援投資事業有限責任組合を設立
2015 年 4 月	イノベーション・エンジン電子技術投資事業組合を設立
2015 年 7 月	イノベーション・エンジン食品革新投資事業有限責任組合を設立
2016 年 6 月	イノベーション・エンジン遠隔医療投資事業有限責任組合を設立
2016 年 9 月	イノベーション・エンジン再生医療投資事業有限責任組合を設立
2016 年 12 月	イノベーション・エンジン産業創出投資事業有限責任組合を設立
2017 年 5 月	加賀電子株式会社と投資顧問契約を締結
2017 年 12 月	JPR&IE バリュース・リアライズ投資事業有限責任組合を設立



佐野 睦典

代表取締役/インベストメント・パートナー

- 野村証券に入社し資産運用業務に従事した後、野村総合研究所に転じベンチャー企業の事業評価と上場支援業務を責任者として推進した。その後、ジャフコにて投資調査部長となった後、日本初の先端技術ファンドの責任者になり運営を行なった。2001年1月に独立し、イノベーション・エンジン株式会社を設立し、ベンチャーファンドの運営を統括すると共に、自ら自身も投資先企業の社外取締役となり事業創成の推進・支援を行なっている。京都大学法学部卒。Harvard Business School PMD修了。
ナノテクビジネス推進協議会 ビジネス委員会 委員長、大阪大学ベンチャーキャピタル顧問、早稲田大学アントレプレヌール研究会 理事、NEDO 技術委員



松本 尚

インベストメント・パートナー

- あおぞら銀行(旧 日本債券信用銀行)に入行後、融資業務等を経て、主にバイオベンチャーをターゲットとしてベンチャーキャピタル業務に従事し、多くのIPOを実現した。その後、あおぞらインベストメントの常務取締役として投資責任者になると共にVC事業のマネジメントを行なった。2009年12月より現職。京都大学大学院工学研究科修士課程修了。



太田 一彦

インベストメント・パートナー

- 大手メーカーで研究開発に従事した後、野村総合研究所のシンクタンク部門に転じ、エレクトロニクス・半導体産業を中心に多数の調査・コンサルティングプロジェクトを推進。その後、ジャフコにてベンチャー投資業務に携わり、投資調査部長として主に先端技術系企業の評価・経営支援等を行う。2010年から当社のアドバイザー、2015年3月より現職。東京大学工学部卒・同大学院修了(修士・電子工学)。Capella University(米) Ph.D (経営学)。



千葉 寧

ベンチャー・パートナー

- ジャフコに入社し15年間ベンチャー投資業務に携わる。東京・大阪基点に、製造業、IT・サービス業などのベンチャー企業を発掘し、育成支援した。2007年起業し、中小企業向けに幹部人材の採用支援とモバイルITによる社員教育事業を運営するとともに、ITベンチャーや音楽メディア、建築工事、金融などの事業再生にも取り組んだ。2016年9月よりベンチャーパートナーとして当社に参画。駿河台大学法学部卒。証券アナリスト。



雨宮 秀仁

ベンチャー・パートナー

- ジャフコに入社し、約6年間ベンチャー投資業務に携わる。2001年ITベンチャー企業 アスカネットに転籍し、新規事業を立上げ、IPOを実現した。その後、WEBサービス企業を経て、2017年6月より、ベンチャー・パートナーとして当社に参画。明治大学法学部卒。



中井 純

ベンチャー・パートナー

- ソニー入社、14年間コンパクトディスク、通信などの研究開発に従事した後、外資系の日本法人の社長を歴任。その後ベンチャー経営に転じ、日本通信のCTOとして日本初のMVNOサービスを上げるなど様々なフェーズのベンチャーの社長や役員として経営及び資金調達に携わる。東京大学工学部物理工学科学士。MIT電子工学部修士・Ph.D。



石井 浩之

ベンチャー・パートナー

- 野村證券に入社し国際金融業務に従事した後、SBIホールディングスに転じ中国ベンチャー企業の投資業務を中国代表として推進した。その後、野村国際(香港)にて中国事業の戦略推進と中国マーチャント・バンキング部門の立上げを担当。2015年7月より現職。南京大学哲学部卒。横浜国立大学大学院国際経済法学研究科修士課程修了。



新庄 義和

ベンチャー・パートナー

- ジャフコに入社し18年間ベンチャーキャピタル業務に従事。2010年に独立後は、ベンチャー企業の資金調達やM&A等のファイナンシャルアドバイザー業務やITベンチャーのCFO業務等のベンチャー企業支援活動を推進。2016年4月より当社ベンチャー・パートナーとして参画。岡山大学法学部卒。



荒木 浩明

ベンチャー・パートナー

- ジャフコ(旧 日本合同ファイナンス)に入社し、約15年間ベンチャー投資業務に携わる。その後、中堅・中小企業を対象とした経営コンサルティング会社を立ち上げ、主に収益改善、事業承継、事業再生をテーマに取り組んでいる。2015年3月よりベンチャー・パートナーとして当社に参画。早稲田大学商学部卒。

経営陣

佐野 睦典	代表取締役
林 哲治郎	社外取締役 第一生命保険株式会社 非常勤顧問
三上 貴司	社外取締役 コーポレートアライアンス株式会社 代表取締役社長
徳永 健一	監査役 企業家ネットワーク 代表取締役社長

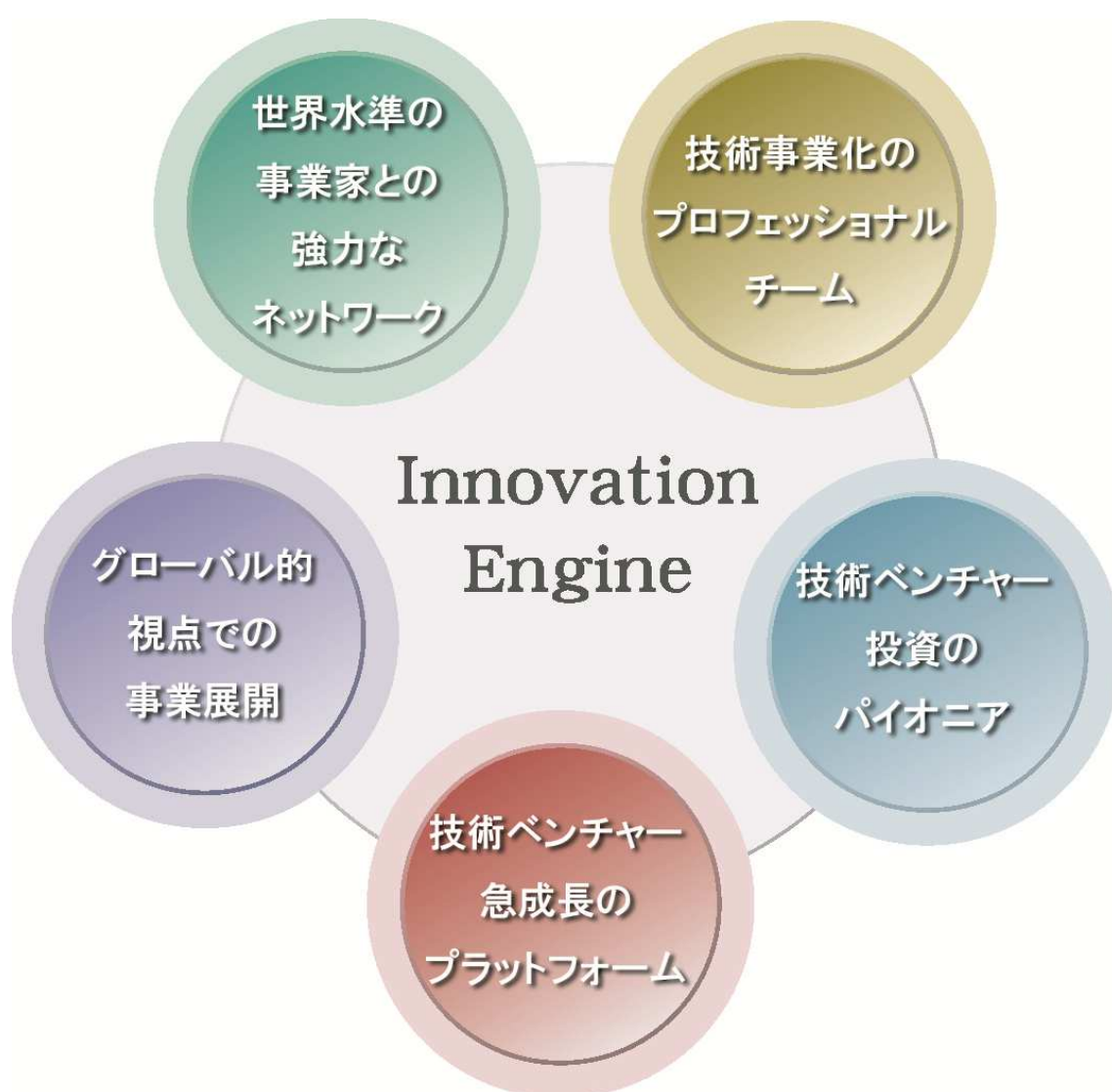
アドバイザー

松田 修一	ウエルインベストメント株式会社 取締役会長 早稲田大学 名誉教授・商学博士
村井 勝	T Xアントレプレナーパートナーズ 代表
西澤 紘一	株式会社みらい知的財産技術研究所 代表取締役

IE(イノベーション・エンジン(株))の強みと特色

IE(イノベーション・エンジン(株))の強みと特色

当社は、技術の事業化、産業化を実現するための豊かな経験と幅広い知識・ネットワークを有しています。具体的には、以下の5点が当社の強みとすることができます。



投資ポリシー

投資戦略

戦略的な投資領域	材料、エレクトロニクス、IT、バイオといった技術から生み出される有望事業領域
投資対象	未上場会社および上場会社の株式、新株予約権などの有価証券
投資手段	投資事業組合の運営および投資顧問
成長段階別の投資	シード段階のベンチャー企業から成熟段階の中堅企業
投資手法	<ul style="list-style-type: none"> 未上場会社に対しては、主にリードインベスターとして投資する。その場合には投資先には社外取締役で入り、経営体制の強化を図ると共に、営業支援、企業提携、経営陣採用など、成長加速支援を推進する。 上場会社に対しては、主にポートフォリオ投資を行う。企業の技術面、事業面、経営面のファンダメンタルズを評価し、割安な企業を中長期的に保有する。

投資分野

実現する社会イメージ	より人間らしさを実現する ロボットとの共生生活	安全・快適・楽しさ・省資源の 自動車活用社会	健康・活力・やすらぎと 省資源を実現する衣食住生活
	いつでもどこでも 便利・創造・感動の情報社会	高技術による気配りで 長寿・健康社会	持続的発展可能な 環境・エネルギー社会
製品	ロボット	医療・健康	クリーンエネルギー
デバイス	半導体	通信デバイス	IOTデバイス
材料	革新材料		
システム/ソフト	AI	VR/AR	ビッグデータ処理

※ ファンド等の概要

■ 先端技術産業創造投資事業有限責任組合（通称：ATIC）

（Advanced Technology Industry Creation）

設立年月日	2005年8月9日
出資総額	22億5千万円
投資対象	先端技術を活用したベンチャー企業
出資者	独立行政法人中小企業基盤整備機構 あいおいニッセイ同和損害保険株式会社 ダイワボウ情報システム株式会社 株式会社リコー 岩井コスモホールディングス株式会社 宝印刷株式会社 東洋証券株式会社 楽天証券株式会社 など計16社

■ イノベーション・エンジン三号投資事業有限責任組合（通称：IE3）

設立年月日	2008年1月31日
出資総額	21億4千万円
投資対象	先端技術を活用したベンチャー企業
出資者	独立行政法人中小企業基盤整備機構 東海東京インベストメント株式会社 藍澤証券株式会社 など計9社

■ IE & Shijo 投資事業有限責任組合（通称：IE & Shijo）

設立年月日	2013年12月12日（運営終了済）
出資総額	9億7,824万円
投資対象	電力関連企業へのターゲットファンド
出資者	法人3、組合1、その他6

■ イノベーション・エンジン創薬支援投資事業有限責任組合（通称：IE 創薬支援）

設立年月日	2014年6月13日
出資総額	7億円
投資対象	創薬ベンチャー企業へのターゲットファンド
出資者	法人10、組合1、その他10

■ イノベーション・エンジン電子技術投資事業組合（通称：IE 電子技術）

設立年月日	2015年4月24日
出資総額	7,500万円
投資対象	中国の電子関連企業へのターゲットファンド
出資者	法人2

■ イノベーション・エンジン食品革新投資事業有限責任組合（通称：IE 食品革新）

設立年月日	2015年7月17日
出資総額	3億8千万円
投資対象	食品関連企業へのターゲットファンド
出資者	法人11、その他12

■ イノベーション・エンジン遠隔医療投資事業有限責任組合（通称：IE 遠隔医療）

設立年月日	2016年6月9日
出資総額	2億4千万円
投資対象	遠隔医療関連企業へのターゲットファンド
出資者	法人6、その他3

■ イノベーション・エンジン再生医療投資事業有限責任組合（通称：IE 再生医療）

設立年月日	2016年9月12日
出資総額	2億19百万円
投資対象	再生医療関連企業へのターゲットファンド
出資者	株式会社新生銀行 他

■ イノベーション・エンジン産業創出投資事業有限責任組合（通称：IE 産業創出）

設立年月日	2016年12月1日
出資総額	26億円
投資対象	産業創出型技術ベンチャー企業
出資者	法人13 その他8

■ 加賀電子株式会社との投資顧問契約

開始年月日	2017年5月1日
契約資産額	50億円
投資対象	・重点市場分野：車載、環境、通信、産業機器、アミューズメント ・新規事業分野：医療、ヘルスケア、素材 ・上記分野を中心に、高い技術力を有するベンチャー企業

■ JPR&IE バリュース・リアライズ投資事業有限責任組合（通称：VRF）

開始年月日	2017年12月20日
契約資産額	約20億円
投資対象	高収益・高成長企業で割安に放置されている中小型上場株式

事業支援プロセス

- 技術シード段階から量産段階まで、中堅・ベンチャー企業の成長を強かに支援します。



概要

社名	イノベーション・ウィング株式会社
本社所在地	〒105-0014 東京都港区芝 2-3-12 芝アビタシオンビル 3F
電話 / FAX	TEL 03-5441-7650 / FAX 03-5441-2890
URL	URL: http://www.innovation-engine.co.jp/group.htm
設立	2002年4月10日
資本金	1,000万円
ミッション	21世紀を担う企業・人材にとって必要な基盤サービスを提供し続けることで、未来創造に貢献する
事業内容	成長を支援する「経営コンサルティング事業」
役員	代表取締役社長 佐野 睦典
株主	イノベーション・エンジン株式会社(100%)

成長を支援する「経営コンサルティング事業」

● 管理部長代行サービス

管理部長サービスは、管理部長として顧客企業の中に入り、経営管理の仕組みの構築や日々の経営管理業務を統括することで顧客企業の経営に参画し、その成長を推進・加速します。特殊な経営課題に対しては、公認会計士、税理士、弁護士、金融機関、社会保険労務士といった個別分野のエキスパートとのネットワークを活用し、その専門性も活用しながら特殊な経営課題を解決します。

顧客企業の経営者は、経営管理全般を統括する参謀の存在により、自らは将来構想・技術開発・営業といった経営者本来の業務に専念することが可能になります。

● 資金調達支援サービス

資金調達支援サービスは、顧客と一緒にあって効率的かつ効果的に資金調達活動を遂行できるよう支援します。ベンチャーキャピタルなどの投資家から資金を調達する場合、最初のコンタクトから資金の払い込みまで、通常3ヶ月程かかります。

調達活動をしている期間中でも、イノベーション・ウィングと2人3脚で行なえば、経営者は事業活動に専念することが可能です。

※ 主な投資先

● 環境・資源エネルギー

(株)フィルテック

【東京】 <http://www.philtech.co.jp/>

半導体テストウエハ事業では、多様な要求に対して適切に応え、業界内での優位性は高い。また、新規開発のヒートビーム装置は、電気ポットサイズでありながら常温の気体を瞬間的に1,000℃以上にすることができる。コスト面でも優れており、急拡大が期待できる。

グラフトンラボラトリーズ(株)

【東京】 <http://www.graftonlab.com/>

放射線グラフト重合技術を用いて、極めて高性能な消臭材・吸着材を開発・製造する。従来の放射線グラフト重合技術に比べて、コストが安いこと、対応できる材料の幅が広いなどの特徴がある。消臭機能付繊維や住宅資材などが成長しておりインターネット通販にも乗出した。

イーレックス(株) (東証一部 上場)

【東京】 <http://www.erec.co.jp/>

電力小売を行う新電力会社の中堅企業で高い成長を続けている。低コストでの電源調達に強味を有すると共に、子会社を通じて高知県でバイオマス発電所を運営する。2016年には、大分県で日本最大級のバイオマス発電所を稼働させた。

(株)IMIC

【東京】 <http://im-ic.jp/outline/>

食品・農業、化学、建築・土木など全ゆる領域の検査・分析サービスを手掛ける。これまでは主に電話・FAXによるサービスであったが、2015年10月に世界初のネットでの総合検査・分析サービスの「分蔵検蔵」(URL: <http://bunzo-kenzo.com/>)を開始した。これにより、全国均一のサービスが実現されている。

● 光デバイス

(株)フォトニックラティス

【宮城】 <http://www.photonic-lattice.com/>

フォトニック結晶技術を用いた高性能偏光子を活用した超精密計測製品や光デバイスを開発・製造する。レンズやフィルム内部の歪みを検査する歪み測定装置は世界唯一の精度を誇り、国内外からの受注が急増してきている。東北大の技術の事業化会社。

(株)光コム

【東京】 <http://www.optocomb.com/>

超高精度の光周波数コム発生器及びその応用製品の開発・製造・販売。超精密な長さ計測、形状計測、振動計測の分野において圧倒的強味を有し、主に自動車会社向けに事業展開を進めている。東工大の技術の事業化会社。

北京視信源科技发展有限公司 (中国 新三板 上場)

【中国】 <http://www.superpix.com.cn/>

低価格のCMOSセンサーや画像処理用ICの開発・製造・販売を行なう。高い開発力とコスト競争力を有し、両事業で優位なポジションを形成している。特にBRICs地域向けでの携帯電話向け製品が同社の成長をリードしている。

● 先端材料

オーセラ㈱

【大阪】 <http://www.ohcera.co.jp/>

京都大学と共同開発した高耐熱セラミック材料の事業化を進める。従来の製品に比べて1,000℃以上の急激な温度変化(ヒートショック)に強いセラミクス材料となっている。現在、住友化学とディーゼルエンジン向けのハニカムフィルターの事業化を行っている。

● 精密計測・微細加工

SCIVAX㈱

【神奈川】 <http://www.scivax.com/>

ナノインプリント装置の製造・販売ならびに成型受託を行う。ナノインプリント業界において、総合的ソリューションが提供できるリーダー的企業であり、装置販売に加えて量産受託を伸ばしている。

ヴィスコ・テクノロジーズ㈱ (東証ジャスダック 上場)

【東京】 <http://www.visco-tech.com/>

画像処理検査システムの開発・製造・販売を行う。目視検査の代替として市場が成長している。最近是对象物のハンドリング装置の開発にも成功し、コネクタを中心とする電子部品向けに強味を有している。中国、タイなど海外展開にも積極的。

インスペック㈱ (東証二部 上場)

【秋田】 <http://www.inspec21.com/>

画像処理による検査機器の開発・製造・販売を行なう。半導体パッケージ基板やフレキシブル基板に強味を持ち、特に超精密検査の分野においては世界トップシェアを誇っている。子会社のクラーロでは、病理診断画像のデジタル化装置を開発・製造・販売する。

㈱生体分子計測研究所

【茨城】 <http://www.ribm.co.jp/>

生体分子計測のための走査型プローブ顕微鏡(SPM)の開発・販売ならびに食品・環境検査サービスを提供する。1秒20画面の動画型SPMは世界初の画期的な製品で、有力大学やエレクトロニクス、化学・薬品分野の企業からの受注が急増している。

クラーロ㈱

【青森】 <http://www.claro.jp/>

病理診断(病気患部から採取した組織や細胞の顕微鏡による診断)の画像データをデジタル化するバーチャルスライドシステムの開発・製造・販売を行う。同社は同システムを日本で初めて開発した企業で、ポータブルタイプ製品に強味を持つ。

● 消費財

五洋食品産業㈱ (TOKYO PRO Market 上場)

【福岡】 <http://www.goyofoods.co.jp/>

フローズン・スイーツ(冷凍ケーキ)業界において、企画開発型の高付加価値商品を提供する随一のメーカー。フローズン・スイーツ業界の成長と大手外食チェーンからの受注急増が相俟って高成長・高収益企業になっていくことが見込まれる。

※ 主な投資先

● ユビキタス IT

(株)キャピタル・アセット・プランニング (東証ジャスダック 上場)

【大阪】 <http://www.cap-net.co.jp/>

金融機関向け販売システムの構築・開発を行なう。特に生保向け設計書申込書システムに強みを持っており、多数の生命保険会社と取引がある。近時は、資産家向け総合資産管理システムの提供も行なう。

(株)BONX

【東京】 <https://bonx.co/ja/>

ヒアラブル IoT デバイス「BONX Grip」の開発。「いつでも、どこでも、ハンズフリーコミュニケーション」をコンセプトに、ヒアラブル IoT と SNS コミュニティを融合させて新たな市場を創出するグローバル企業。業務用トランシーバーの代替需要も期待される。

PicoCELA(株)

【福岡】 <http://jp.picocela.com/>

既存メッシュ通信を凌駕するケーブルレス多段ホップ無線通信技術の IP ベンチャー(九州大学発)。屋外のブロードバンド化、ロボット、ドローン等の遠隔制御など応用範囲が広く、IoT デバイスが爆発的に普及するためのインフラとして活用が期待されている。

(株)ロゼッタ (東証マザーズ 上場)

【東京】 <http://www.rozetta.jp/>

自動翻訳機の開発、自動翻訳サービス「熟考」の販売・運営、翻訳支援ソフト「TraTool」の開発・販売を行なう。特に、特許、医学、製薬、バイオ、化学、機械など、専門技術分野で高い自動翻訳率を誇る。スピード翻訳オプションの「速考」は、英中韓の3言語に対応している。

(株)MONOCO

【東京】 <http://monoco.jp/>

デザイナー雑貨の会員招待制ショッピングサイト「MONOCO」の企画・運営。「すべての人々にデザインのある生活を」をモットーに、デザイナーと購入者の物を通じた交流の場を提供。

(株)ネッチ

【東京】 <http://netch-jpn.com/WebCorp/corp.html>

インターネットによる遠隔 UFO キャッチャーを運営している。現在、実物の UFO キャッチャー 250 台が稼働している。獲得された景品は、プレーをした人の自宅に宅配便で送付される。UFO キャッチャー以外の様々な景品ゲームの種類を増やしている。

AOS モバイル(株)

【東京】 <http://www.aosmobile.com/>

ショートメッセージおよびビジネスチャットサービスを提供するモバイルプラットフォーム企業である。企業のコミュニケーション力向上・働き方改革を実現している。高いセキュリティ技術及び AI 技術を有し、金融機関・大手家電メーカー・新聞社等の優良顧客を持つ。

● 働き方改革

CROCO(株)

【東京】 <http://www.cro-co.co.jp/>

人(クラウドソーシング)×テクノロジー(データ解析)による WEB マーケティング事業。良質な WEB コンテンツの制作・拡散・解析・知財保護をワンストップで提供できる。一連のキュレーションサイト問題を解決するソリューションとして、大手企業等から評価され同業他社に比べ収益力も高い。

(株)ママスクエア

【東京】 <http://mamasquare.co.jp/>

ママが働くワーキングスペースの隣に子どもが安全に過ごすことのできるキッズスペースを併設した託児機能付ワーキングスペースを全国に展開、運営している。「子どものそばで働ける」をコンセプトにした働き方改革企業であり、CSV 企業として注目度も高い。

● フィンテック

Tranzax(株)

【東京】 <http://www.tranzax.co.jp/>

電子記録債権業を展開している。同業務は国内でメガバンク系3社、全銀協系1社及び当社の5社のみが政府の指定を受けており寡占状況にある。その中で画期的なファイナンススキームを特許として有しており、今後の成長が期待される。

● セキュリティ

インヴェンティット(株)

【大阪】 <http://www.yourinventit.com/ja-jp/>

デバイスの遠隔制御システム(M2M)の基本技術を有しており、現在の主力事業はスマートフォン及びタブレットの遠隔制御ソフトウェア(MDM)の販売・導入を展開している。

エンカレッジ・テクノロジー(株) (東証マザーズ 上場)

【東京】 <http://www.et-x.jp/>

基幹システムにアクセスできるエンジニアのセキュリティ管理を通じシステムの監視、システムの問題把握等を行なうソフトウェアの開発、保守ならびに販売。金融機関を中心に大企業向けの業務が着実に拡大している。

● ロボティクス

(株)ZMP

【東京】 <http://www.zmp.co.jp/>

自動運転車の開発を推進しており、ロボットタクシーや物流支援ロボット「CarriRo(キャリロ)」に力を入れている。また鉱山機械の自動運転では、出資者のコマツと共同開発を行うと共に、ドローンの産業応用ではソニーモバイルと合弁会社を運営している。

(株)テムザック

【福岡】 <http://www.tmsuk.co.jp/>

移乗・移動ロボット、歯科研修用ロボット、レスキューロボット、コミュニケーションロボットなど多彩なサービスロボットの開発・製造・販売を行う。EU、英国や中東などの海外展開にも積極的。

● 医療・健康

(株)ジーエヌアイグループ (東証マザーズ 上場)

【東京】 <http://www.gnipharma.com/japanese/>

中国で創薬事業を展開する。肺線維症の医薬品は中国 SFDA(国家食品薬品検査管理局)から承認を受け販売を開始し、保険収載も認められた。肝炎の医薬品も臨床開発を進めており、今後、世界への展開を計画している。

Delta-Fly Pharma(株)

【徳島】

中堅製薬会社の研究開発データに基づいた 3 種のガン関連の医薬品の開発を行なっている。大手製薬会社の研究開発データの活用、原薬の活用等により開発ステージは進んでおり、開発リスクを低減した計画となっている。米国で 3 本の治験が進行中。

(株)メドレックス (東証マザーズ 上場)

【香川】 <http://www.medrx.co.jp/>

すでに販売されている薬剤を貼付剤等に形状変更(一種の DDS)することで事業を展開する創薬ベンチャー。中枢性筋弛緩薬の貼付剤においてインド大手製薬企業へのライセンス契約を締結している。

(株)リボミック (東証マザーズ 上場)

【東京】 <http://www.ribomic.com/>

アプタマー(立体的に造形した RNA で、病気の原因となるたんぱく質と結合してその働きを阻害する)を用いた創薬事業を展開。いくつかのアプタマーで大塚製薬との共同研究が進行中である。

オンコリスバイオファーマ(株) (東証マザーズ 上場)

【東京】 <http://www.oncolys.com/>

同社は HIV 感染症治療薬、抗がん剤を主力とする創薬ベンチャーである。HIV 感染症治療薬については Phase II b が終了した。また、ガンに関連する検査薬事業も展開している。

(株)グリーンペプタイド (東証マザーズ 上場)

【福岡】 <http://www.green-peptide.com/>

久留米大学の研究成果をシーズとして、がんペプチドワクチンの開発を行っている。テーラーメイド型がんペプチドワクチン「ITK-1」は富士フィルムへライセンスアウトして国内第Ⅲ相臨床試験を実施中である。米国での臨床実験も進行中。

(株)インディー・メディカル

【東京】 <http://www.indee-medical.com/>

皮膚の細胞を採取し、ダメージのある創傷部に塗布・スプレーする細胞懸濁液をつくる治療キット ReCell® の開発。

ORTHOREBIRTH(株)

【神奈川】 <http://orthorebirth.com/>

綿状の人工骨の開発・製造・販売。米国で承認・販売済みであり、売上が伸びている。日本では KISCO と業務提携済、医療機器として承認を目指している。

(株)ワイズ

【東京】 <http://ys-j.co.jp/>

脳血管疾患の後遺症に悩む人向けに、健康保険・介護保険の枠組みを補完する「保険外サービス」としてリハビリ事業を展開する。個人の症状や要望に合ったプログラム作り、マンツーマン指導などが評価され、首都圏を中心にリハビリ施設の展開を加速している。